

取り付けと接続

NVX-DV501/NVX-DV701/
NVX-DV703B

Sony Corporation ©1999 Printed in Japan



付属部品の確認

NVX-DV703Bではピーコンユニット(NVA-VB2)が付属になります。NVA-VB2の取り付けと接続部品についてはNVA-VB2の取扱説明書をご覧ください。

ナビ本体

- ① マジックテープ(50cm)*
- ② 電源コード
- ③ 圧着式コネクタ(赤)



- ④ 圧着式コネクタ(ピンク)×2
- ⑤ コネクションボックス接続コード



*マジックテープは、①と②、⑦の作業で(NVX-DV703Bではピーコンユニットの取り付けでも)必要なだけ切って使います。後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。

モニター

- ⑥ スタンド
- ⑦ 固定用ネジ×3
- ⑧ スタンドカバー
- ⑨ クリーニングクロス

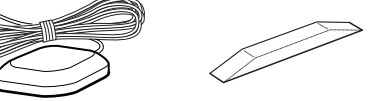


- ⑩ コードクランパー×10
(GPSアンテナ用(音声認識マイク用: NVX-DV701/NVX-DV703Bのみ)を含む)



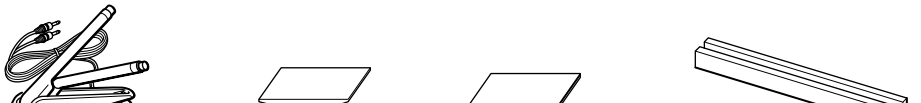
GPSアンテナ

- ⑪ GPSアンテナ
- ⑫ クッション

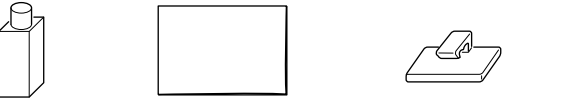


TVアンテナ

- ⑬ TVアンテナ(左1、右1)
- ⑭ 防水ゴム×2
- ⑮ 両面テープ×2
- ⑯ コードガイドレール×2

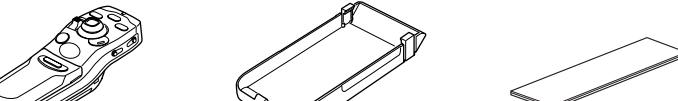


- ⑰ クリーナー液
- ⑱ 不織布
- ⑲ コードクランパー×6



リモコン

- ⑳ ナビシステム用
- ㉑ リモコンホルダー
- ㉒ 両面テープ



音声認識(NVX-DV701/NVX-DV703Bのみ)

- ㉓ 音声認識用マイク
- ㉔ マイクリップ



その他

- ㉕ アースコード



ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客さま相談センターへ
●東京03(3)548-3311 ●名古屋052(2)232-2611 ●大阪06(6)539-5111

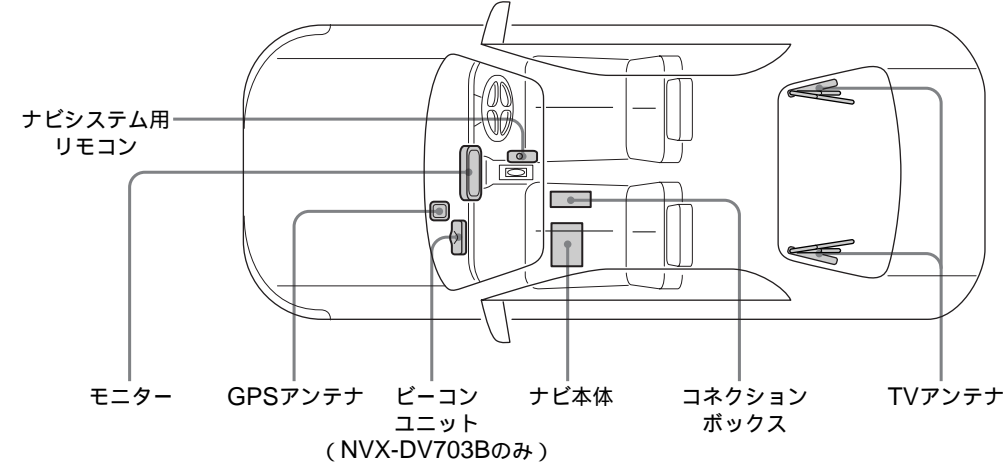
保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ
(モバイルエレクトロニクス専用)
0120-64-0131 (フリーダイヤル)

Sony online <http://www.world.sony.com/>
*Sony onlineは、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。



取付場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各機器を配置してください。



GPSアンテナを車外やリヤトレイに取り付けるときは裏面の「GPSアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

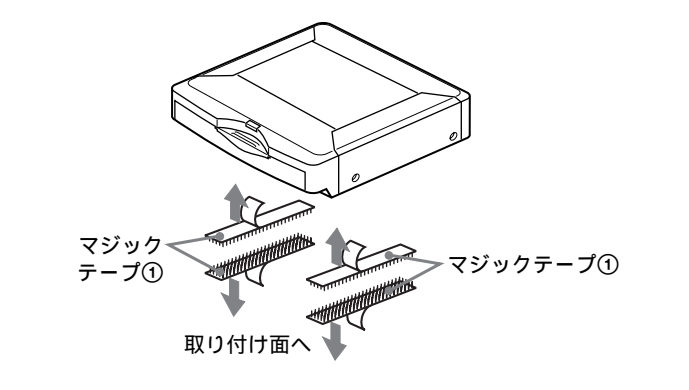
- 1 イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく
- 2 仮置きして(上図参照) ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

1 ナビ本体を取り付ける

●●●ご注意

- マジックテープは、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
- 横置き位置で水平5°以内、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - 高温になる場所
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーペットなどに取り付ける



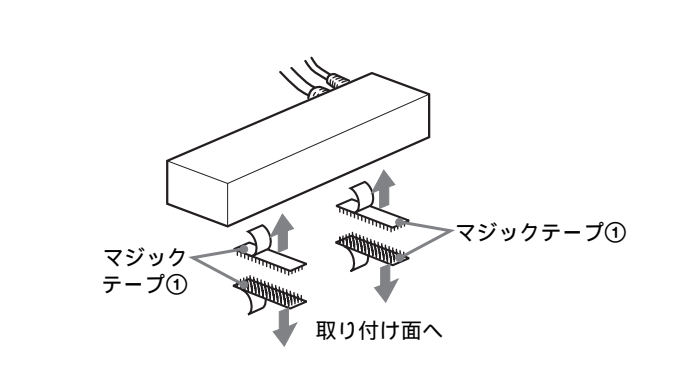
マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

2 コネクションボックスを取り付ける

●●●ご注意

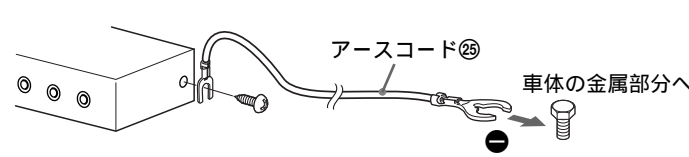
- マジックテープは、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
- ナビ本体とコネクションボックスは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- マジックテープは中央部の銘板を避けて取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - 高温になる場所
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーペットなどに取り付ける



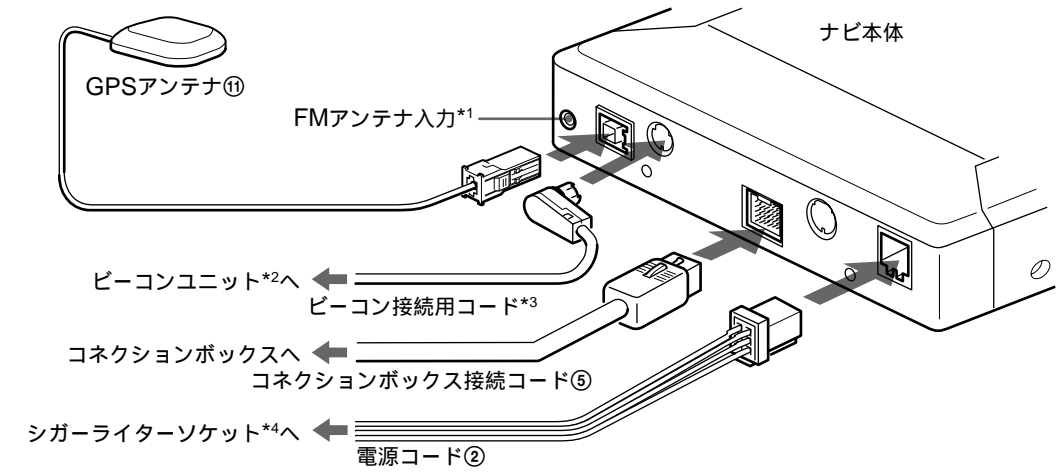
マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

オルタネーターノイズが発生するときは



3 ナビ本体と接続する

下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。

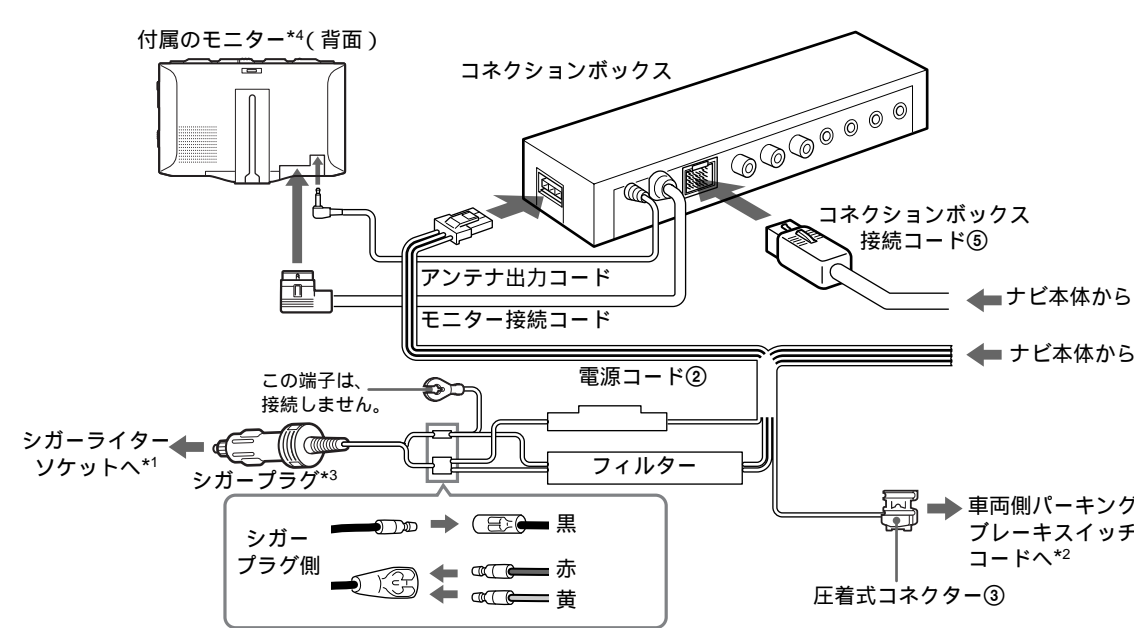


●●●ご注意

- 別売りの簡易車速パルス発生器XA-200Sをお使いになると、ナビゲーションシステムの車速情報の精度が向上します。XA-200Sでは、カーコンピュータの車速パルスと接続する必要があります。
- 作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。

4 コネクションボックスと接続する

本機は、電源にシガーライターソケットを使うことで、電源への接続を簡単にしています。下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。



●●●ご注意

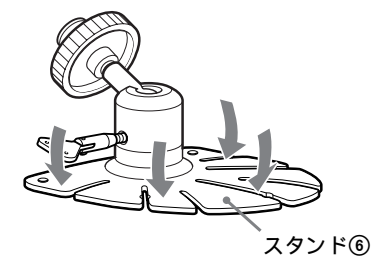
- 作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。
- パーキングブレーキスイッチコードに接続しないと、ナビゲーションシステムが走行中と誤ってしまい、設定や登録などの複雑な操作ができなくなります。詳しくは、裏面の「パーキングブレーキスイッチコードの接続について」をご覧ください。
- お買い上げ時は、接続された状態になっています。シガープラグを使用しない場合は上記イラストの部品をはずして接続してください。
- NVX-DV501にはXTL-W5、NVX-DV701とNVX-DV703BにはXTL-W7が、それぞれ付属しています。

5 モニターを取り付ける

取り付け位置については、裏面の「モニターを取り付ける前に」をご覧ください。

- 1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑥を曲げる

曲げすぎて、スタンドが浮かぬようにご注意ください。



- 2 クリーニングクロス⑨で取り付け面の汚れを取る

- 3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける
- 取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヘアドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
 - 取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
 - 取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

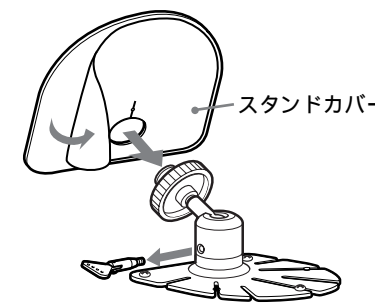


- 4 固定用ネジ⑦で固定する

取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。



- 5 スタンドカバー⑧を接着する



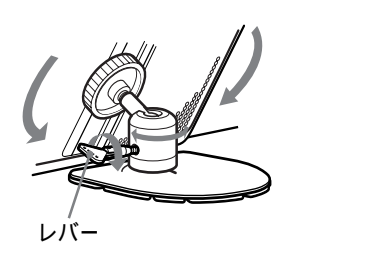
- 6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める

車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締めて固定します。



- 7 レバーをゆるめて角度を調節する

調節後はレバーをしっかり締めて固定します。



6 TVアンテナを取り付ける

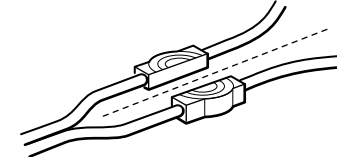
●●●ご注意

不織布にクリーナー液を染みこませ、取り付け面に付着している汚れなどを拭きとってから、取り付けてください。

TVアンテナの使いかたと取り付けたかについては裏面の「TVアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

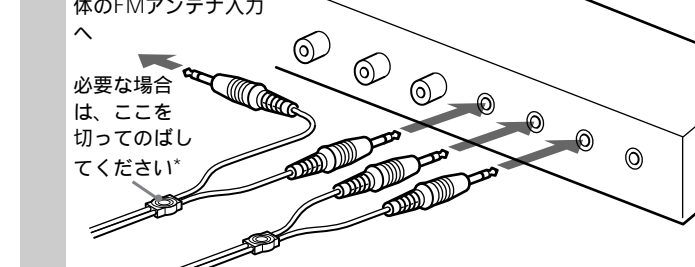
●●●ご注意

*TVアンテナコードを切る場合、下図のように必ずコードに沿って切ってください。

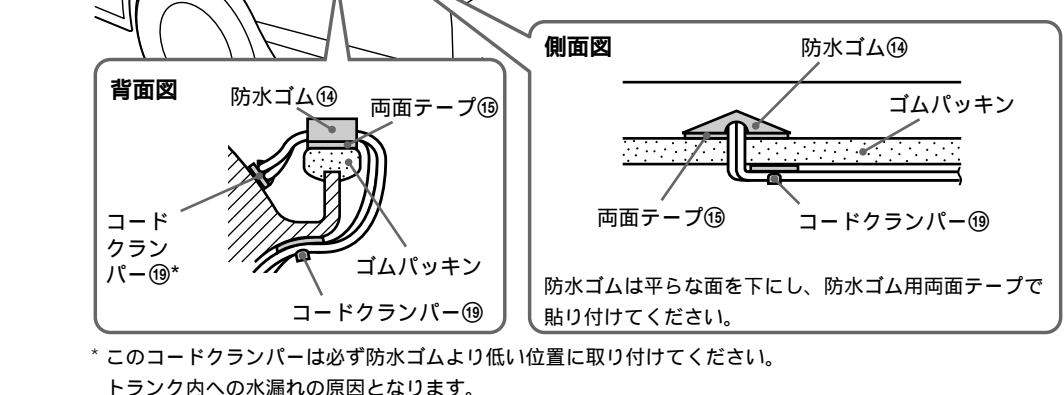
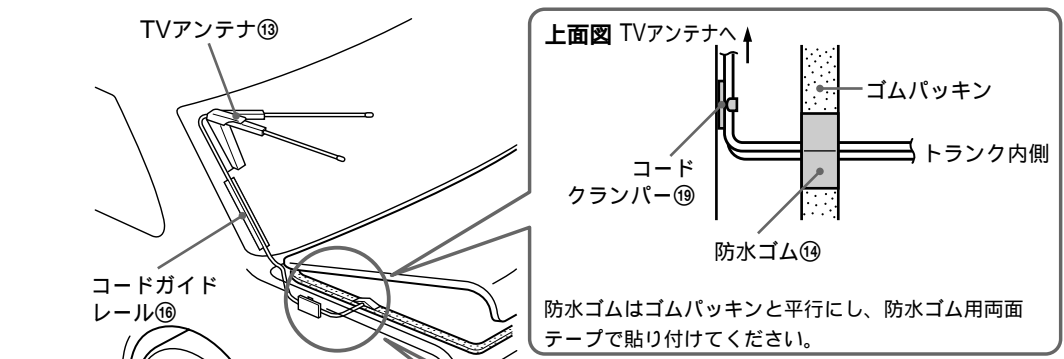


裏面の「TVアンテナの取り付けについて」もあわせてご覧ください。

- 1 TVアンテナ⑬をリヤウインドウに取り付ける
- 2 TVアンテナコードを配線する
下図を参照してください。
- 3 TVアンテナコードを接続する
端子の1本は、ナビ本体のFMアンテナ入力へ



配線のしかた



*このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。ドラック内への水漏れの原因となります。

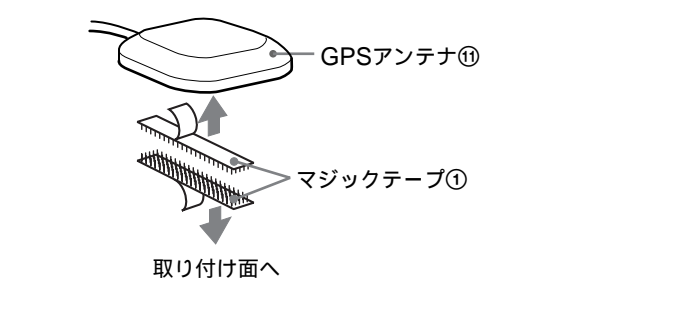
7 GPSアンテナを取り付ける

●●●ご注意

- 一部のウィンドウガラスには、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、1度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

リアトレイや車外に取り付ける場合は裏面の「GPSアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

マジックテープ①を必要な分だけ切り、GPSアンテナ⑪を取り付ける



8 音声認識用マイクを接続する(NVX-DV701/NVX-DV703Bのみ)

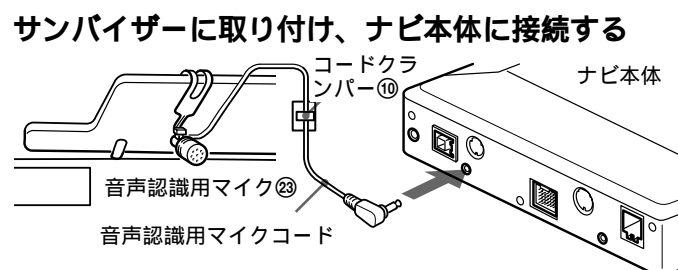
コードを固定するときは、付属のコードクランパー⑲をご使用ください。

●●●ご注意

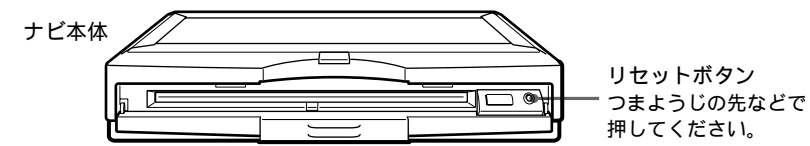
音声認識マイクコードを通すとき、一部のエアバックシステムや衝撃を吸収する構造などの場合は、お買い上げ店または車両の販売店にご相談ください。

- 1 マイクリップ⑲を取り付ける
音声認識用マイク⑳の後側から、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

- 2 サンバイザーに取り付け、ナビ本体に接続する



9 車のエンジンをかけて、リセットボタンを押す

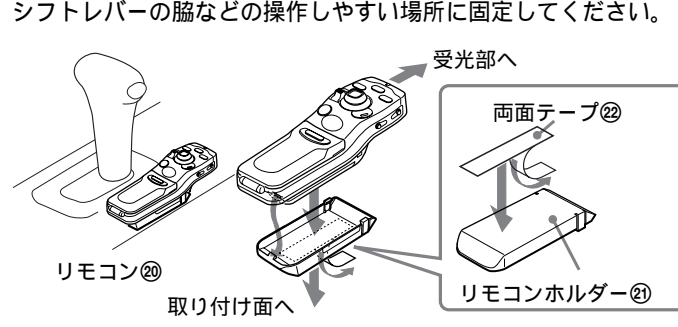


10 リモコンを取り付ける

●●●ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - シフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
 - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。
 - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

両面テープ⑲で、リモコンと受光部が向き合うように取り付け



両面テープを取り付ける前に、リモコン操作が正しくできることを確認してください。

警告 安全のために

警告表示の意味

「取付接続説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災 感電 行為を禁止する記号 禁止 分解禁止

下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡**や大けがの原因となります。

本機はDC12Vマイナースター専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

前方の視界を妨げる場所に取り付け
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

分解や改造をしない
火災や感電、事故の原因となります。

分解や改造をしない
火災や感電、事故の原因となります。

ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
コード類はまため。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付け
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に取り付ける
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付け
歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

付属の部品で正しく取り付け
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかりと固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

モニターを取り付ける前に

注意

- 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。
- 不安定な取り付けは絶対にお避けください。走行中ははずれることがあり、大変危険です。

モニターは、安全性を重視して設計されていますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行なってください。

取り付け位置
前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずむむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。極端に視線を下げる位置に設置しないでください。

取り付け位置のポイント
運転者から見て、ボンネットの先端よりもモニターが上に出ない位置に取り付けます。

取り付け例
モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。ダッシュボードが曲面の場合、ダッシュボードが平面の場合、モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。

取り付け位置のポイント
運転者から見て、ボンネットの先端よりもモニターが上に出ない位置に取り付けます。

取り付け例
モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。ダッシュボードが曲面の場合、ダッシュボードが平面の場合、モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。

TVアンテナの取り付けについて

取り付ける前に

- 必ずリアウィンドウに取り付けてください。
- 車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離してください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受けやすくなります。
- エレメントが車体より出ない所を選んでください。目に当たるなどして大変危険です。
- 湿気の高いとき(雨、霧など)は、取り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドウデフォッガー、ヘッドライナーなどを利用して、温めてから取り付けてください。

なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラスの曲面が大きいはがれるおそれがあります。アンテナの左右を確認して取り付けてください。

1 TVアンテナ③から取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる
取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。

取り付けたら

- 24時間はアンテナに水をかけたり、雨にあてたり、無圧力を加えないでください。
- 走行前に、確実に固定されていることを必ず確認してください。
- 取り付け後は、取り付け状態をときどき点検してください。
- 自動洗車機の使用は避けてください。
- アンテナ本体、エレメント、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなど拭かないでください。(変形、破損の原因となります。)
- このような場所は、映りにくくなります。
 - ビルとビルの間
 - 高圧線、送電線付近
 - 飛行機が近くを飛んでいる場合
 - 電車が近くを走行している場合
 - 山中や送電局から近い場所
 - トンネル内
 - ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

2 取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける
接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

TVアンテナの使いかた
アンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっぺいのはし、エレメントBを内側へ倒します。(取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。)

取り付け金具 (左側用) (右側用)

GPSアンテナの取り付けについて

注意

- 取り付けるときは、ボディを傷つけないように静かに置いてください。
- コードを車外でたまたままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードランパ④を使用してください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが折れることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。
- GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPSアンテナおよび本体(ナビ本体)の故障の原因となります。
- アルミやFRPボディの車に取り付ける場合、アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

1 トランクリッドなどの上に取り付ける
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

ダッシュボード ルーフ トランクリッド

2 トランクリッドの裏側にクッション⑤を取り付ける
雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを開めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑤が当たるように取り付けてください。

クッション⑤

車内に取り付ける場合
リアトレイやダッシュボードに取り付けます。平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。取り付けかたについて詳しくは、裏面の「7 GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

注意
一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

注意
車両側パーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。

接続図

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。 取り付ける車両の詳しい資料については、「ソニー-FAXインフォメーションサービス」(表裏左下参照)をご利用することもできます。

接続図

コネクションボックス

電源コード②

テレビアンテナ入力

テレビアンテナ出力

モニター接続コード(3m)

アンテナ出力コード(3m)

赤(④より1m)

黒(⑤より1m)

緑(⑥より1m)

赤(④より1m)*

黒(⑤より1.5m)

黄(⑥より1.5m)

黒(⑦より1.5m)

赤(⑧より1.5m)

白(2.5m)

青(2.5m)

黒(0.3m)

白(0.14m)

黒(0.35m)

黒(0.45m)

黒・緑(⑨・⑩よりそれぞれ4m)*

電源延長コード(別売り)*

FMアンテナVCA-14(別売り)など

FMアンテナは、FM-VICSやFM多重放送を受信するのに必要です。

GPSアンテナコード(5m)

音声接続用マイクコード(7m)

コネクションボックス接続コード⑩(1.5m)

音声認識用マイク(NVX-DV701/NVX-DV703Bのみ)

ナビ本体(背面)

AV出力端子(本機では使用しません)

GPSアンテナ⑨

ナビ本体をトランクルームに取り付ける場合は、電源延長コードとしてRC-129P(別売り:5m)とコネクションボックス接続コードとしてRC-302(別売り:3m)をお使いください。シガープラグコードは使用しないでください。

電波の強い地域では、TVアンテナ⑩の4系統のアンテナ力のうち1本を使用することができます。電波の弱い地域では、FMアンテナVCA-14(別売り)またはアンテナ分配器XA-46FM(別売り)を接続してください。車載アンテナがガラスアンテナの場合、十分な受信感度が得られないことがありますので、FMアンテナVCA-14(別売り)を接続してください。

*電源延長コード取り付け時の長さです。

RFモジュレーター(CDX-525RF)を接続するときは、アンテナコードの配線順序にご注意ください。

RFモジュレーターCDX-525RFを接続するとき、アンテナコードの配線順序にご注意ください。アンテナコードの配線はアンテナ分配器XA-46FM(別売り)に接続してから、RFモジュレーターに接続してください。ナビ本体のアンテナ分配器XA-46FM(別売り)とRFモジュレーターの順序を逆に接続すると、RFモジュレーターを使用する機器を動作させたときに、VICSやD-GPSが受信できなくなります。

車速センサーコード/バックランプの電源コードの接続について

自律センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位ができません。また、バックランプの電源コードを接続しなくとも車両側同時の誤差が生じます。

圧着式コネクタ(ピンク)の使いかた
(バックランプの電源ケーブルの取り付けかたも同様です)

1 圧着式コネクタ④から、金具を取りはずし、センサーボックスの白色コードと車両側の車速センサーコードをコネクターに接続

車速センサーコード(バックランプの電源コード)

白色コード(若草色コード)

2 手順1ではずした金具を取り付け、ふたをする

パーキングブレーキスイッチコードの接続について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキがフットブレーキの場合

圧着式コネクタ(赤)の使いかた

1 電源コードのパーキングコード(緑色)の先端に圧着式コネクタ③を取り付ける

突出部分

パーキングコード(緑色)

2 圧着式コネクタを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける

パーキングブレーキスイッチ

パーキングブレーキスイッチ

車両側パーキングブレーキスイッチコード

パーキングブレーキランプ

注意
車両側パーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。

ビーコンユニットや携帯電話との接続について

注意

- CD-ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A165Aは接続できません。
- 一部のデジタル携帯電話は使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。
- ビーコンユニットとしてNVA-VB1(別売り)を使うこともできます。そのとき、接続に接続コードRC-131(別売り)をお使いください。
- PDCインターネットユニットの接続は、コネクションボックス接続コード⑩を接続した後にしてください。

ナビ本体(背面)

COMMUNICATION IN/OUTへ

アンテナ入力

VICS対応ビーコンユニットNVA-VB2(別売り)

デジタル携帯電話(別売り)

ナビゲーション

ビーコンアンテナ

接続コード(NVA-VB2に付属)

*ビーコンユニットNVA-VB2は、NVX-DV703Bには付属しています。

コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにからまる、非常に危険です。

コードランパ④

コネクションボックス

シート下にテープで固定する

リアシートクッション部

スcaffプレート

スcaffプレートははずし、フロアカーペットの下に引き回してください。